

「交流サロン」だより

in 大仙 5月号

2022

新緑の季節を迎え、清々しさのお陰で、ついつい新型コロナウイルスの感染状況を忘れてしまいそうで、「いかんいかん」と言い聞かせて過しています。少しずつですが感染者数も減少傾向に向かっているように感じますが、時々発生するクラスターにドキドキするとともに油断大敵と身を引き締め直す（何時まで続くのだろうと思いつながら）・・・年度が替わってから2ヶ月、いつもの年なら福島県の被災者支援事業の発表があってもおかしくないのですが、いまだに音沙汰がないです。これまで行ってきた「交流サロン」などの活動は、福島県外避難者帰還・生活再建支援補助金で賄ってきましたが、毎年この決定の遅さに、不安を感じながら実施してきた、と言うのが正直な気持ちです。現在の活動を継続する方法は、ほかにあるのではとも思います。4月8日現在、福島県外にいる方が2万3千人以上、この数字をどう見るかは皆さんそれぞれ考えるところに違いがある事と思いますが、その中には、故郷に帰りたくても帰る所がないという方もいらっしゃることを知って頂きたいと想っています。

マイフォト「中仙の春」

令和4年4月26日撮影



「今だけ」

令和4年5月18日撮影



6月の交流サロン

6月26日(日)

10時～15時!!

「折り紙」に変更します

昼食代 200円

新型コロナウイルスの感染状況によつては中止も予想されます。予めご了承願います。

マイフォト一言

中仙の春は、先月お約束しました「桜とこまち」です。翌日は、大荒れの日で散ってしまい、ラッキーな一枚となりました。今だけは、ご覧の通り水鏡に写った「こまち」です。田植え前しか見ることができないコマ、前日まで風が強く、ようやく撮ることが出来ました。奥に鳥海山が見えますが残念ながら春霞のせいか、ぼんやりとしています。悔しい!!



今月の「交流サロン」から!!

今月は、避難者支援班の皆さんと、アキタパートナーシップさんを迎えて「絵手紙教室」の開催となりました。今回、趣向を変えミニ額縁絵手紙を作ることにになり、一生懸命頑張つて出来上がったのが左です!! 洒落た作品になっています。さて、お楽しみの昼食ですが、帆立ご飯をメインに、ジュンサイの吸い物、蕨のお浸しと山椒味噌和え、レタスのサラダに釜揚げシラス添え、失敗したのは、キヤベツと胡瓜のお新香を忘れて来たことです。残念!! お腹いっぱいになったせいか、午後はまったりとした時を過ごしました。

絵手紙作品 (ミニサイズ)

お浸しと山椒味噌和え、レタスのサラダに釜揚げシラス添え、失敗したのは、キヤベツと胡瓜のお新香を忘れて来たことです。残念!! お腹いっぱいになったせいか、午後はまったりとした時を過ごしました。



「絵手紙」教室



本日の昼食

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇九六七〇二八五二